

し、終戦当時の警察発表では、犠牲者三十二万人と言われ、現在確認されている犠牲者数でも十五万人を越す大惨事となった。

広島原爆被爆より五十年が過ぎようとしている。「君たちの犠牲」により、国はその被害の大きさに驚嘆し、旬日（十日）を経ず戦争集結（ポツダム宣言受諾）となり、戦後の平和国家建設が始まり、国民は現在の繁栄する「日本」を手にする事が出来ました。

「百メートル防火道路」建設に当たっての犠牲者の「慰霊碑」は、この百メートル道路に沿って学校毎に建立され、「君たちの犠牲」を永遠に伝える様に多くの人々が努力している。

また私たちの母校広島市立商業学校と広島市立造船工業学校の原爆被

爆者「慰霊碑」は平和公園南の本川河畔に建立され、被爆の犠牲者全員の名前が刻まれている。

君たちの建設した「百メートル防火道路」は、現在広島市の「平和大通」として、防火及び人や車の通行に用いられている。

私は、君たちの偉業を後世に申し送ると共に「平和国家維持の為、全力を傾注する」決心です。

広島原子爆弾被爆五十周年を迎えるに当たって

「原爆被爆犠牲者諸君の冥福を祈る」

平成五年十月二日

建物疎開時の生存上級生

広島市立造船工業学校 三年生

著者 追記

この文章は、原爆被爆後四十九年経過して記憶で作成したものである

りません。

昭和二十年八月六日広島市において、私は世界最初の原子爆弾に被爆。被爆当日の言語に絶す悲劇を目撃。私の生涯における最大の悲劇と考え、悲惨な悲劇の実態を後世に伝えるべく出来る限り正確に記録しており、それを整理したものです。

この文章は百メートル道路建設に関する学徒の功績を記したものです。文中の名称は全て実名です。

敵の動き、作戦名称等は戦後発表されたものを一部使用しています。被爆より終戦まで数度広島市に行く。終戦後九月半ばまでに数度。

翌年八月一ヵ月広島に滞在。広島市内の原爆被爆の内容調査を行った。

この調査途中、中島の最北部、相